

News letter



October 21

2014 増刊号

アジア留学の魅力

「留学」というと、欧米への留学を思い浮かべる皆さんが多いと思いますが、アジア留学にもたくさんの魅力があります。

まず、地理的に近く、生活費も安くすむため、欧米に比べて割安な費用で留学できるという点があります。

また、近年、目覚ましい発展を遂げ、急速にグローバル化が進むアジア諸国では、英語により授業を行っている大学も多く、英語による留学も可能となっています。例えば、本学の協定校であるタイのアサンブション大学は、ほとんどすべての授業が英語で行われており、英語留学として、協定留学プログラムの募集を行っています。その他、中国、台湾、韓国の大学にも、英語のみで授業を行う学部が設置され、本学学生の留学は着実に増えており、現在、協定留学プログラムにより、留学中の学生もいます。

現地の言語による留学であっても、想像以上に英語を使用する機会が多かったと、経験者の多くが語っています。

日本とアジアの結びつきも、ますます強くなってきており、アジア進出に力を入れている企業も多く、アジアへ留学し、現地の人々とのコミュニケーション能力に磨きをかけ、その文化や社会を深く理解することは、就職活動にもきっと役に立つでしょう。

何より、似て非なるアジアの文化を肌で感じることに、おもしろさを見出したアジア留学経験者の言葉が物語っています。

このように、アジア留学にはたくさんの魅力があります。

本学にも、アジアに協定校があり、長期の留学である協定留学プログラムの実施や、夏期休業期間中に短期語学研修を行っています。

また、国際研究教育機構でも、夏期休業期間中に、中国・台湾・韓国で短期研修が行われています。

この機会に皆さんもぜひ、アジア留学に挑戦してみませんか？



2014年度夏季韓国語研修



2013年度春季中国語研修

【長期プログラム】

2015年度 協定留学プログラム 派遣先大学一覧（アジア）

第1期（留学期間：2015年4月～2016年3月）

留学先の使用言語	国名	大学名	募集人数
中国語	1 台湾	東呉大学 ※英語での留学も可	2
		慶北大学校 ※英語での留学も可	3
韓国語	2 韓国	東国大学校 ※英語での留学も可	2

第2期（留学期間：2015年10月～2016年9月）

留学先の使用言語	国名	大学名	募集人数
中国語	1 中国	復旦大学 ※一部英語による受講も可	1
		北京外国語大学	2
		北京郵電大学（新規募集）	2
英語	2 台湾	東呉大学 ※英語での留学も可	2
		淡江大学 ※中国語での留学も可	2
英語	3 韓国	慶北大学校	3
		啓明大学校	1
		東国大学校 ※韓国語での留学も可	2
		高麗大学校（新規募集） ※韓国語での留学も可	2
英語	4 タイ	チュラロンコン大学 ※タイ語での留学も可	1
		アサンブション大学	3

※東呉大学、慶北大学校、東国大学校の募集人数は、第1期と第2期の合計人数です。
 ※2015年度第1期の募集は終了し、現在第2期の出願を受け付けています。

【短期プログラム】

2013年度 短期語学研修プログラム実施内容（アジア地域）

研修名	研修校	参加人数	研修期間	宿舍	費用※
夏季韓国語研修	東国大学校（韓国・ソウル）	12名	平成25年 8月11日～24日	寮	約10万円
春季中国語研修	淡江大学（台湾・新北）	10名	平成26年 2月23日～3月9日	寮	約15万円

※燃油サーチャージ、空港施設使用料等は含まず

アジア留学の王道

それでは、アジア留学の王道、現地の言語による留学経験者の体験談を紹介します。

文学部史学科4年 則松 和
留学先：北京外国語大学（中国・北京）
留学期間：2013年10月～2014年9月

私はもともと東洋近代史に関心があったことに加え、教職において隣国である中国について話すとき、現在の中国というものを報道のみでしか知らないのに、生徒たちに何と説明すれば良いのだろうか…ぜひ実態を知りたいと考えるようになり、北京への留学を決めました。

北京外国語大学は施設がとても充実しており、欧米からの留学生も多く、刺激に満ちた毎日でした。アジア特有の熱気と、中国の発展を目の当たりに出来る北京での留学は、必ずや今後の皆さんの人生の素晴らしい糧となることと思います。

ぜひ、ぜひ、勇気を出して留学してみることをお勧めします。



**人文科学研究科日本語日本文学専攻
博士前期課程2年 渡辺陽子**
留学先：東呉大学（台湾・台北）
留学期間：2013年10月～2014年9月

1. アジアの大学へ留学しようと思った理由

専門が日本語教育なので日本語教育が盛んな台湾に行きたいと思いました。留学中の支出が低く抑えられるのも魅力でした。

2. 留学した大学の良い点、お勧めの点

東呉大学は留学生にフレンドリーな学生が多かったです。日本語や日本文化に興味がある人が多いので、友達も作りやすいと思います。

3. アジア留学の魅力

多様な学生と交流できることです。欧米系の留学生も、もともとアジアに興味がある人たちなので、日本のことにも興味を持っていて交流を持ちやすかったです。また私たちとは違う観点でアジアを見ていて、議論するのが楽しかったです。

4. 後輩へのメッセージ

台湾は治安もよく、生活がしやすいところです。欧米に行くより留学費用も安く抑えられます。中国語はもちろんですが、英語を使う、勉強する機会もありますので、中国語と英語を一緒に勉強したいという人におすすめです。



経済学部経営学科3年 石井 梓
留学先：復旦大学（中国・上海）
留学期間：2013年10月～2014年9月

1. アジアの大学へ留学しようと思った理由

当時中国に留学しようと思った理由は、大学の授業で初めて中国語に触れて漢字と発音が面白く感じ、もっと学んでみたいと思ったからです。

また、英語は帰国子女に負けると思い、第二カ国語で就職の時に勝負しようと考えたからです。

私は経済学部なので、中国は経済大国であるから、留学経験があれば具体的に就活でアピール出来ると思ったからです。



2. 留学した大学の良い点、お勧めの点

私が留学した復旦大学は上海の中でも一番争うほど大きな大学でしたので、環境が整った場所で勉強することが出来ました。

大学の寮は想像以上に立派で、神経質な日本人でも困らずに1年間住むことが出来ると思います。

近くに沢山美味しく安いお店や大きなショッピングモールがあるので便利だし、勉強して生活するには満足な環境でした。

3. アジア留学の魅力

アジアは日本と似ている部分があるので、欧米と比べたら生活しやすい環境だと思います。時差もほとんどないので。

今、アジアは経済においても注目されている時代であるし、同じアジアで距離は近くても、全く違う文化なので面白いです。

4. 後輩へのメッセージ

世界共通語は英語であるし、大学で始めたばかりの第二カ国語で外国に行くのは中々勇気が出ないかもしれませんが、実際最初は訳が分からなくて本当に辛かったです。けれど、最初がゼロのスタートであるから、伸びが英語留学よりも大きいと思うし、留学を終えた時の達成感は必ずあります。

法学部政治学科3年 林 由夏
留学先：東国大学校（韓国・ソウル）
留学期間：2013年10月～2014年9月

1. アジアの大学へ留学しようと思った理由

私はもともと、韓国語に興味があり1年半くらい勉強しており、勉強していくなかで実際に韓国の大学に通って勉強してみたいという思いが強くなり韓国留学を決めました。日本から一番近い国でありながら、似ているようで似ていない韓国で生活を送ることによって多くの発見と経験をし、たくさんのお話を吸収できました。日本には決してわからなかったことをたくさん感じられたので、とても良い勉強になりました。

2. 留学した大学の良い点、お勧めの点

ソウルのと真ん中にあるため、交通の便はとても良く、学校内は坂が多いため大変ですが寮も施設も綺麗で学食は全国3位のおいしさです。また、韓国人学生が留学生に韓国語を教えてくれるサークルがあるのでとてもオススメです。

3. アジア留学の魅力

アジア留学の魅力は、それぞれの国が似たような部分を持ちながらも国独自の文化が存在するのでアメリカやヨーロッパとはまた、違う楽しさがあると思います。特に韓国は、ほとんど日本とは変わるところはありませんが、人柄や行動の違いなど、ちょっとしたところの違いというのを感じた時は、おもしろかったです。

4. 後輩へのメッセージ

現在は、やはり英語圏に留学したいと思う人がほとんどだと思いますが、私はこの国であろうとその国で学びたいことがあるのなら実際に行ってみることをお勧めします。大学生だからこそできることがたくさんあると思うので、迷っていたらまずは行動に移してみてください。海外で生活するという事は本当にたくさんのお話を学べる素敵な機会だと思います。ぜひチャレンジしてみてください。



TOEFL®・IELTS™ 対策

アジアの大学へ英語での留学を希望する場合、英語圏と同様、TOEFL®やIELTS™のスコアを求められる場合があります。国際交流センターでは、これらの試験対策として、以下のような支援を行っています。

なお、これらはいずれも今年度の新規事業です。

e-learning 毎日特訓「TOEFL® テスト対策コース」

特 長：パソコンを使用しての自学自習コース

受講期間：4か月間（第1回：4～7月、第2回：8～11月、第3回：12月～3月）

※ 第3回の募集は、11月公示予定です。

募集人数：各回10名

受講料：本年度は免除

※この講座は、本学が留学支援の一環として開講しているもので、受講料は本学が負担しています。次年度からは、一部有料となります。

IELTS™ 対策講座（今年度はすでに実施済み）

特 長：ネイティブ講師による講座

受講期間：平成26年9月1日（月）～9月4日（木）

受講料：1人あたり12,000円

※この講座は、本学が留学支援の一環として開講しているもので、受講料の一部を本学が負担しています。この受講料は、補助後の金額です。

参加者：16名

TOEFL iBT® / IELTS 受験の助成

応募条件：TOEFL 又は IELTS を受験した者

助成金額：一人につき1万円以内（給付）

募集人数：50名以内（平成26年度第1回分採用実績 13名）

募集時期：年2回（6月、12月）

アジアの大学への英語留学を考えるー多様化するアジア留学ー



近藤 茜さんは、英語で留学可能な韓国の慶北大学校を留学先に選びました。英語留学を志していたものの、韓国語にも興味があり、両言語で学べる韓国への留学を決意したそうです。

アジアの大学への英語留学は、それ以外にもたくさんのメリットがあるようです。近藤さんの体験談から、アジア留学の魅力を見出してください。

文学部英語英米文化学科3年 近藤 茜
留学先：慶北大学校（韓国・大邱）
留学期間：2013年10月～2014年9月

1. アジアの大学へ英語留学をしようと思った理由

元々韓国に興味があったが英語もやりたかったため、私にとって一石二鳥の留学であった。韓国といっても、日本から出てさえしまえば留学生に囲まれて生活するため、絶対英語を使う環境ができると確信していた。そして、余裕ができたなら韓国語もやろうと思っていた、1年の留学で2つの言語を習得できて、とても良い留学であった。また、英語圏よりも費用が安いので金銭面もメリットの1つであった。そして私の専攻である英語教育の勉強もでき、とても充実した1年であった。韓国は日本に比べてものすごく英語に力が入れているため、学ぶ点も多かった。

2. 慶北大学校の良い点、お勧めの点

慶北大学校は、大邱の中で一番優秀な大学と言われており、英語の授業ではほとんどの在学生の英語力が高く刺激的であった。そして、国際交流院のサポートもしっかりしているため、安心して生活ができる。キャンパスも広く、学校の周りもカフェや食べるところなどたくさんあり、便利であった。寮も安く良かった。日本人留学生も少ないため良い。授業の数も多く、おもしろい授業も受けられた。韓国語をやりたければ語学堂もあるので通うことが出来た。そして、慶北大学校に来ている留学生は、ソウルと違い、皆英語留学で来てい

るため安心できる。

3. 留学先での実際の授業の様子

私は英語の専攻の授業を多く取り、外国人教授の授業を多く取った。外国人教授の場合、プレゼンの評価などで成績が決まるため、一生懸命取り組んだ。韓国人在學生は試験前になると、2週間前から熱心に勉強をするため、刺激的である。グループワークなども多く、他の学生たちと仲良くなる機会もある。基本的に、教授と生徒が会話したり意見を求められたりすることがあるため、発言力などもついて良かった。

4. アジアの大学へ英語留学する魅力

一番の魅力は、留学生の国籍が様々であり、たくさんの人たちと知り合える。英語圏に行けばアジア人留学生が多いかと思うが、韓国はアジアのため、ヨーロッパや中南米、様々な国から来る留学生が多くとっても楽しい。また、その国の言語も学べるため英語だけでなく第3言語も学べる。

5. 後輩へのメッセージ

アジアだからといって、英語が学べなくなることはないからまず安心してほしい。アジアであろうとどこであろうと、日本さえ出せば外国である。外国であるということは、英語を使わざるをえない。そして、アジアであるため、日本と似たように似てなく、様々な発見もあって楽しい。英語もやりたいけれど他のアジア語もやりたいという人は、迷わず行くべきである。必ずそれ以上のものを得られる。私はこの1年間で英語と韓国語、インターシップ等、たくさんのお会いがあり、本当に充実した留学生活を送ることができた。



ただいま留学中



山崎慶彦さんは、今年9月から1年間、台湾の淡江大学に、本学から初めて、協定留学プログラムによる派遣学生として留学しています。山崎さんの留学先である国際政治経済学科では、すべての授業が英語で行われており、キャンパスは台湾の北東部、自然豊かな宜蘭県にあります。山崎さんはここで寮生活を送っています。

法学部政治学科3年 山崎 慶彦
留学先：淡江大学（台湾・宜蘭県）
留学期間：2014年10月～2015年9月

こんにちは。僕は現在台湾にある淡江大学に留学をしている山崎慶彦と申します。

一般的に台湾留学と聞くと、まず「中国語留学」を想像するかもしれませんが、僕の学部の授業は全て英語で行われているため、英語留学という形で留学しています。

僕がこの大学を選んだのは、やはり英語と中国語の両方触れたいと思ったのが理由の1つです。というのも僕自身、当初は中国語の留学を考えていたのですが、次第に今後社会に出る上での重要性や世界中の人とコミュニケーションを取るには、やはり英語が重要であると感じたため、英語も学べるこの大学を選んだ。

実際、淡江大には数多くの授業が用意されており、基本的に授業内では全て英語で行われます。またここでは海外留学が必須であるため、生徒の英語レベルも高く、日々彼らから刺激を受けながら生活を送っています。

そして授業外では当然、現地語である中国語も存分に使うことが出来ます。

まだ留学が始まって間もない身ですが、こうして英語と中国語を直接学ぶことで、中国台湾人は勿論のこと、私が好きなアジア全体、そして世界中の人とコミュニケーションが取れるのは大きな強みだと思っています。

皆さんも是非、英語でアジアへ一歩足を踏み出してみて下さい。



韓国の東国大学校でも英語のみで開講される授業が、全体の32%（経営学部では80%）にも及びます。現在、同大学へ英語留学中の阿部未沙子さんの現地からのレポートをお届けします。

留学生活は楽しいことばかりではないけれど、その先にはきっと何か得るものがあるはず…



法学部政治学科2年 阿部 未沙子
留学先：東国大学校（韓国・ソウル）
留学期間：2014年10月～2015年9月

1. アジアの大学へ英語留学をしようと思った理由

韓国人学生の英語に対する意識を知りたくて留学を決意しました。韓国に興味があったものの、留学当初は韓国語が全く分からない状態で苦勞もありました。

2. 東国大学校の良い点、お勧めの点

東国大学校はソウルの中心部にあるので、移動が便利です。キャンパスもちょうど良い大きさだと思います。

3. 留学先での実際の授業の様子

ディスカッションと発表をしなければならないので、緊張感があります。ときどき、難しい専門用語を韓国語で解説をするときがあるので、私のような韓国語初級者にとってはかなり大変です。

4. アジアの大学へ英語留学する魅力

英語を母国語としない人達と会話をする機会が多いので、その国なまりの英語を聞き取る訓練になると思います。

5. 後輩へのメッセージ

留学して7か月が経ち、まだ慣れないこともありますが、一方で、私の先輩は留学生活にとっても順応していたので、羨ましいなと思うこともありましたが、不安で、孤独な時どのように動かが大切だと今感じています。



長谷部さんの留学生活拝見！

留学中の皆さんは、一体どのように過ごしているのでしょうか？

今年9月から、東国大学校（韓国・ソウル）へ留学中の長谷部萌恵さんに、1週間の生活を紹介します。長谷部さんは、「2013年度夏季韓国語研修（ソウル・東国大学校）」への参加体験から、長期留学を志し、現在、協定留学プログラムにより1年間の予定で、同大学へ留学しています。



法学部法学科3年 長谷部 萌恵
留学先：東国大学校（韓国・ソウル）
留学期間：2014年10月～2015年9月

9月19日（金）

東国大学校での留学バディーであるパク・ダスルさんが大学新聞の取材を受けるので、この留学バディー制度や寄宿舎での生活、大学の印象などについて取材を受けました。

金曜日は日語日文学科の授業『韓国コミュニケーション』が14:00～17:00まであります。この授業は、前半は文法説明（韓国語で）、後半はグループワークです。後半は日本人が先生となって教科書の設問と一緒に、日本語を教える時間です。また、時間が余った時は学生さんからの質問に答えるなど現地の学生さんと自然と交流できる授業がとても楽しく受けています。

9月20日（土）

毎週土曜日は하람（ハラム）という韓国語教室（大学の学生が教えてくれます）が11:00から14:00まであります。この授業は、韓国語だけで行われますが、生徒に1人のチューターがつき、易しい韓国語にかえて教えてくれるので理解することができます。13時からは하람のチューターさんとお昼ご飯と一緒に食べにいき、たくさん交流ができます。

今日は、韓国人バディーの友人が世宗大学（セジョン大学）で演劇をするので、観に行きました。日文学科の学生さんなので、すべて日本語の演劇で、とても感動しました。わたしもこの留学中にこのようになりたいと強く思った日でした。このあと、夜ご飯もみんなで食べにきました。バディーさんたちは交流も多く、自然と仲良くなれますよ。

9月21日（日）

日曜日はオフなので、留学生の友達と韓国人の友達とカロスギルに買い物に行き、近くにある漢江を散歩しました。カロスギルは有名なおしゃれな町なので、女の人も男の人も楽しめます。韓国人の友人は、休日でも面倒を見てくれるのでとてもありがたいです。

9月22日（月）

まだ語学堂（語学学校）が始まっていないので、月曜日は一日お休みでした。日

中は寮で韓国語の勉強をして、夕方は寮生が使用できるジムで運動するという一日でした。私が生活している寮は自炊が禁止なのですが、ジムが利用でき、とても便利で住みやすいです。夜は、ルームメイトと今日は何をしたのかなど話しますが、フィリピンの人なので英語で話します。英語で話すことは難しいですが、だんだんと話す時間が多くなることがうれしくもあり、楽しい時間です。

9月23日（火）

友達と生活必需品を買いにいき、お昼ご飯は屋台を体験したいということになったので屋台に行きました。韓国を代表するご飯を食べることもでき、屋台のおばさんはとても気さくで話しかけると優しく返してくださるので、韓国語を多く学んだ1日でした。夕方は、日本の他大学から来た留学生とカフェに行き、留学の不安や目標を話しました。同じ国の人とは、あまり多く一緒に居ることは望ましくないと言われますが、同じ国の人でも違う大学から来た人と知り合えるのは大きな収穫だと思います。

9月24日（水）

今日から語学堂が始まりました。私は、前期は韓国語の習得を中心に勉強し、後期の専門の学習に備える予定です。語学堂は、いろいろな国の人々がいるので、共通語は韓国語です。4時間みっちり韓国語を学べます。

語学堂のあとは、外国人登録証ができたのでとりいき、みんなとカフェで日本の文化と韓国の文化について話したり、漢江で遊ぶ予定について話したり…あっという間に時間が過ぎてしまいました。

9月25日（木）

語学堂2日目、単語テストがありました。単語テストは出題された単語を使って自分で文章を作るので、アウトプットの練習ができます。授業も文法を何回も問題を繰り返して自然と頭の中に入ります。

午後は、銀行の口座を作りにいき、携帯電話を買いにいきました。

これでやっと不自由なく生活できる体制が整いました。

東国大学校は、勉強環境も整っていますし、学校自体がきれいです。また、英語での留学が盛んで、たくさんの方とも交流ができます。

明洞・東大門などソウルの中心にあるので、遊びにいけるのも便利です。

また、寮は建築されてからあまり経ってないので、とてもきれいですし、通信環境、セキュリティなどの生活環境も整っています。

アジア留学の魅力は、英米圏内の留学より近く、安いことです。又、なにより、近い距離にある国だけれども、文化が全く違うことが多くあることを、実際に感じる事ができます。

私が実際に言われたことですが、なんで英語圏じゃないの？と言われました。しかし、自分が興味のある文化、言語を学ぶことは自分にとって大きな経験になることは間違いないです。私は留学して現地の人と交流して、まだ1ヶ月くらいですが、近くにある国だが存在する考え、文化の違いを直に感じる事ができ、両国の視点から詳しく見てみたいと思ひ、より関心がわきました。

協定留学生による協定校の紹介

現在、本学には、11カ国19大学から、30名の協定留学生が留学中で、そのうち、10名がアジアの協定校の出身です。

この9月には、タイのアサンブション大学から、初めての協定留学生2名が来日し、本学で学んでいます。

タイのアサンブション大学では、すべての授業が英語で行われており、協定留学プログラムでは、英語留学として募集を行っています。欧米の大学に比べ、応募条件である英語力は、クリアしやすいスコアとなっていますので、多くの皆さんの応募をお待ちしています。

アサンブション大学からの協定留学生、ウアウドンサタポン タモンワンさんとインドラ バユーンガ ナニンさんに、アサンブション大学について聞いてみました。

アサンブション大学の特長を教えてください。

「すべての授業が英語で行われているので、英語で留学することができます。そのため、クラスではたくさんの留学生が学んでいて、とてもインターナショナルな雰囲気です。」

「みんな、留学生に慣れているので、とても親切ですよ」とナニンさん。

一学食はいかがですか？

「学食では、各国の料理が楽しめます。これも留学生が多いお陰です。」

一キャンパスがとてもきれいと聞いています。

「はい。とても広く、きれいですよ。」

タモンワンさんからは、「この夏公開された映画『ルパン三世』の撮影場所にもなりました。」とのコメントがありました。

中国の北京郵電大学からも、今年9月、初めての協定留学生2名を迎えました。

同大学への初の本学派遣学生の募集も現在行っています。

邱アカンさんと袁一荻さんに、母校を紹介してもらいました。

「北京郵電大学は、コンピュータを始めとした理工系の学習はもちろん、法律や経済、文学系の勉強もできます。先生方はとても優しいです。」

キャンパスは3箇所あり、広いです。また、留学生寮は2人部屋で、ホテルのようにきれいで



す。学食もメニューが豊富で、中国各地の料理が楽しめます。

留学生向けに、中国の伝統文化である太極拳や中国結びを学ぶ授業も開講されています。日本人留学生は少ないので、日本語学科では、日本人留学生を大歓迎しますので、ぜひ、私たちの大学へ留学してください。」

同じ中国北京市にある北京外国語大学からも、周建豊さんと凌諤嘉さんが本学に留学中です。北京外国語大学の特長について聞いてみました。

「北京外国語大学は、地下鉄の駅が近く、北京市内にあるので、文化財の見学や毎日の生活はとても便利です（本学と似ていますね）。留学生も多く、インターナショナルな雰囲気があります。」

施サンジョさん、頼思含さん、游皓宇さんには、3名の出身大学である、台湾の東呉大学を紹介してもらいました。

「東呉大学は、台北市にありますが、キャンパスは、都心とは思えないほど自然に囲まれており、国立故宫博物館も近くにあり、先生方は優しく、熱心に教えてくれます。留学生のためのイベントもたくさん行われています。」

その他にも、韓国の慶北大学校、東国大学校、タイのチュラロンコン大学からの協定留学生も学んでいます。

これらの大学について、もっと知りたいと思った皆さん、ぜひ、留学生に直接たずねてみてください。

なお、今回の協定留学プログラムにより、韓国の高麗大学校の募集も始めます。韓国内のトップ校であり、世界的にも著名な大学です。英語のみで開講される授業も多く、韓国語ができなくても留学できます。

以上の協定校への留学生は、海外留学奨学金需給の対象となったり、JASSOの海外留学支援制度（短期派遣）奨学金受給者もあり、経済的負担が欧米の大学と比べ、さらに軽減される場合もあります。

今まで対象として考えていなかったアジア圏の大学も視野にいれることで、留学の選択肢は格段に広がるはずです。

アジア留学、考えてみませんか？

News Letter

October 21

2014 増刊号

発行日 / 2014年10月21日

編集・発行 / 学習院大学国際交流センター

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

TEL.03-5992-1024 FAX.03-5992-1025

http://www.gakushuin.ac.jp/univ/cie/ (「学習院 CIE」などで検索してもヒットします)